

事業番号	事務事業名	情報臨時管理費-RPA及びAI-OCR運用支援委託	所管課名	くらし安全課	令和 3 年度課長名	小原 克則
00461-1	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	情報広報係	担当者・シート作成者	森田 城生
	施策名	47 地域情報化の推進	根拠法令等			

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	RPAおよびAI-OCRを活用し、業務効率の向上を図る。	新規事業の提案により採択された、RPAおよびAI-OCRを導入。R2年度で業務効率化の検証を行いR3年度より本格導入。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)		④対象指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	職員	→	ア	職員数	見込	291	300	300	300	300
					実績	298	297	293		
イ		→	イ		見込					
					実績					
ウ		→	ウ		見込					
					実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)		⑤成果指標(意図の達成度)		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	PRA及びAI-OCR導入による事務の効率化を図る	→	ア	シナリオを作成した業務数(R2は実証実験)	業務	目標	5	2	3	5
						実績	5	2		
						達成率	100.0%	100.0%		40.0%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					
ウ		→	ウ		目標					
					実績					
					達成率					

③主な活動内容		⑥活動指標		単位	区分	1 年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
ア	システムによりシナリオを作成する	→	ア	作成したシナリオ(R2は実証実験)	業務	目標	5	2	3	5
						実績	5	2		
						達成率	100.0%	100.0%		40.0%
イ		→	イ		目標					
					実績					
					達成率					
ウ		→	ウ		目標					
					実績					
					達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計	01	款	02	項	01	目	09	予算上の事業名					事業番号
	一般会計		総務費		総務管理費		情報管理費	01	02	情報臨時管理費-RPA及びAI-OCR運用支援委託				
予算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	決算(千円)	1 年度実績	2 年度実績	3 年度実績	4 年度見込	5 年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源		3,399	2,451	3,113	3,000	-948	一般財源	3,399	2,451	3,113	3,000	-948		
合計		3,399	2,451	3,113	3,000	-948	合計(A)	3,399	2,451	3,113	3,000	-948		
財源名称	従事正職員人数								2	1	2	2	-1	
	延べ業務事務時間								480	200	480	480	-280	
	人件費計(千円)(B)								1,605	670	1,642	1,642	-935	
	最終予算額		2,451 千円		予算執行率		100.0%		トータルコスト(A+B)		5,004	3,121	4,755	4,642
主な支出事業内容(予算)	委託料(資産:土地以外)				2,123 千円		主な支出事業内容(決算)	委託料(資産:土地以外)				2,123 千円		
	委託料(物)				328 千円			委託料(物)				328 千円		

事業番号	00461-1	事務事業名	情報臨時管理費-RPA及びAI-OCR運用支援委託	所管課名	くらし安全課
------	---------	-------	---------------------------	------	--------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
国において自治体DXの推進計画が策定され、今後益々のデジタル化が進んでいく。
②この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯
令和2年度に実証実験をし、令和3年度より本格導入。
③この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか?

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか?意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	RPAおよびAI-OCRの導入により、単純ミスをなくし、効率的な行財政運営の推進を図る。
	②町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか?税金を投入して行うべき事業か?住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	業務効率の向上をはかるツールであり、妥当である。	
③対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)			
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明		
有効性 評価	④成果の向上余地(成果向上の余地はないか?成果を向上させる有効な手段はないか?何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	RPA等については、様々な業務に導入できる可能性があるため、職員に広く周知し、利用してもらう必要がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は?目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	業務効率の向上を目指すには必要である。	
⑥方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)			
<input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がある <input type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	対象業務の選定方法には、改善余地がある。	
効率性 評価	⑦事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	シナリオ作成を委託しているが、職員自らシナリオ作成できれば、費用削減につながる。
⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)			
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	シナリオ作成にはある程度の時間がかかる。	
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか?受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	事務効率の向上につながるもので、公平である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

①上記の評価結果		②全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	RPA等の導入においては、スムーズに行えたが、シナリオ作成をする業務が集まらなかった。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④担当課としての事業の方針																							
<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	今後の改革改善案 多方面の業務で活用できるように、他自治体の導入事例や、研修等を開催していきたい。		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上		○																						
	維持																								
	低下																								
⑤改革改善案を実施する上で解決すべき課題																									
原課の各担当者が、どの業務に利用できるかがわからずに、シナリオ作成に至っていない。他自治体の導入事例や研修等で																									